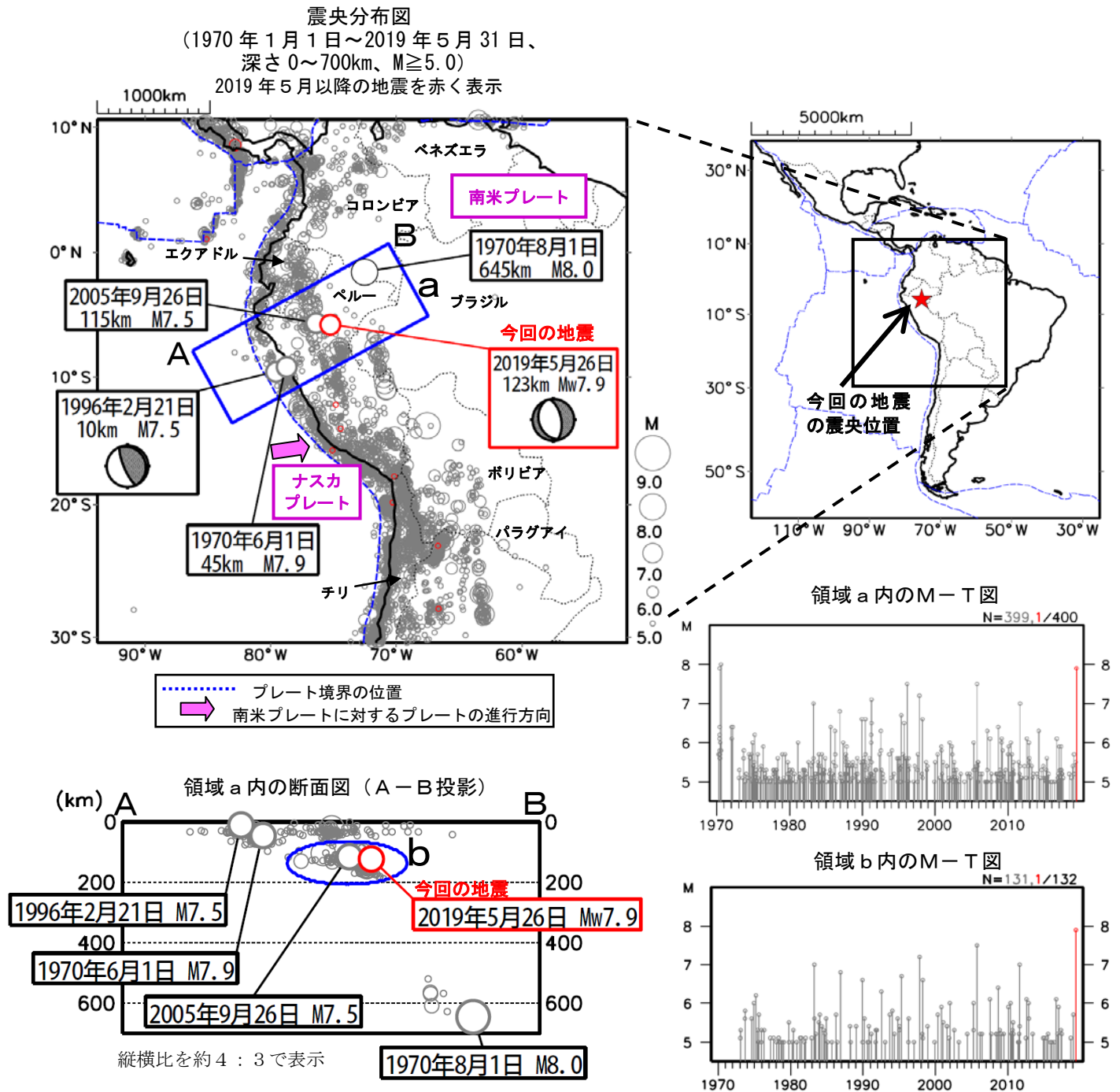


5月26日 ペルー北部の地震

2019年5月26日16時41分（日本時間、以下同じ）にペルー北部の深さ123kmでMw7.9の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した地震である。この地震により、死者2人、負傷者15人等の被害があった（5月30日17時現在）。

気象庁は、この地震に対して、同日17時11分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生しており、2005年9月26日の地震（M7.5、深さ115km）では死者5人の被害があった。今回の地震の震央付近（領域a）では、M7.5以上の地震が1970年以降5回発生しているが、そのうち1970年6月1日に発生した地震（M7.9、深さ45km）では、死者66794人等の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2019年5月31日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。1970年6月1日の被害は宇津の「世界の被害地震の表」、その他の地震の被害はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.